

5 声 Voice

普段利用している人や、これまでの取り組みに参加した人の声を紹介します。
あなたにとって、弘南鉄道はどんな存在ですか？



高村絵里加さん(左)・美羽さん(右)

子どもの通学に大鰐線を利用しています。バスの日もありますが、鉄道は雪の日も大きな遅延が少なく、春～秋の時期は自転車を持ち込めるので便利ですね。

桜ミクのラッピング列車や金魚ねぶた列車、昔の弘前の風景を紹介したパネル展など、地域色が豊かな企画を親子でよく楽しんでいます。子どもが弘前の魅力を知り、地元を愛する気持ちが育つ機会にもなっていると思います。

駅員さんは子どもに「大きくなったね」などと声を掛けてくれる、親しみのある存在です。バス通学が続いた時は寂しく感じることも…。そんな思い入れのある鉄道なので、廃線になったら悲しいです。存続できるよう願っています。



弘前実業高校2年 千葉虹実さん

黒石市からの通学のために弘南線を利用しています。通学中は音楽を聴くなど、リラックスできるひと時。車窓からの自然の風景が好きです。

弘南鉄道は以前より利用者が減り、経営が大変そうだと日頃から感じています。

現在、学校の授業の一環で弘南鉄道PRのための商品開発企画に取り組んでいるので、しっかり盛り上げて利用者を増やしたいです。来年2月に予定している開発商品の販売に向け、幅広い世代に届くような情報を発信して、弘南鉄道を応援できればと思います。

弘前実業高校のほか、沿線の学校などによる弘南鉄道PR活動をTwitter・Instagramでご覧になれます。
ハッシュタグ「#弘南鉄道しか勝たん」で検索を♪



文京小学校 中村真吾 教務主任

当校は大鰐線の沿線にあるということで、市の呼びかけで大鰐線で今年運行された「子ども金魚ねぶた列車」の制作に参加しました。今回制作したのは、見る人を楽しませたいと、子どもたちが自分なりの工夫を凝らしたオリジナル金魚ねぶたです。初めての作業に緊張気味でしたが、筆の運びやロウの加減に苦労しながらも、楽しんで取り組みました。



◀ 思い思いの金魚ねぶたを制作する子どもたち

完成後、実際に列車に飾られた様子を見て、可愛らしく風情のある金魚ねぶたの良さを改めて感じました。子どもたちにとっても、ねぶた文化の良さを実感するとともに、自分たちの活動が地域振興の役に立つことを肌で感じる事ができたようです。

子どもたちは普段鉄道を利用する機会が少ないようですが、今回をきっかけに久しぶりに親子で電車に乗ることができてよかったという保護者の声もありました。

大変有意義な取り組みだと思うので、機会があれば、今後も弘南鉄道と連携した取り組みを継続していきたいですね。

みんなで作る未来へのレール

弘南鉄道は地域を結ぶ大切な交通手段であると同時に、古い車両や修理技術、レトロな駅舎など、歴史的価値を持つ財産・観光資源であり、地域の人の暮らしや文化を豊かにする場でもあります。

弘南鉄道の未来はあなたが関心を持つことから始まります。日常的に乗車するのは難しくても、休日に小旅行する、イベント列車に乗車する、グッズを購入するなど、楽しく支援できる方法はいくつもあります。みんなでできることを積み重ねて、弘南鉄道の明るい未来に通じるレールを作っていきましょう。(おわり)



あなたの声を聞かせてください

弘南鉄道の利用者を増やすための取り組みに関するご意見やアイデアを募集します。

どんなことでも構いませんので、皆さんの声をぜひお寄せください。

▼募集期限 11月30日(火)

▼応募方法 郵送、ファクスまたはEメールでお送りください。様式は問いません。

■応募先 地域交通課(〒036-8551、上銀町1の1、ファクス35-3765、Eメールchiikikoutsuu@city.hirosaki.lg.jp)



▲Eメールは市ホームページ(QRコード)からも送れます。

新型コロナウイルスワクチンのお知らせ

ワクチン接種に係る相談窓口を設置

▼相談内容 予約のしかたがわからない、12歳の誕生日を迎えた・転入したなど新たに接種対象になる等

▼開設時間 平日の午前8時30分～午後5時(12月29日(水)～1月3日(月)を除く)

▼場所 新型コロナウイルスワクチン接種対策室(市役所3階)

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、なるべく電話、ファクスまたはEメールでの相談にご協力を。

■問い合わせ先 新型コロナウイルスワクチン接種対策室(☎38-3190、ファクス33-9699、Eメール〈QRコード〉)

※Eメールでの問い合わせは、「お問い合わせ先」を【新型コロナウイルスワクチン接種対策室】としてください。



ワクチンの3回目接種について(令和3年10月15日現在)

国から示された方針に基づき、市では3回目接種に向け、以下の想定で準備を進めています。

▼接種対象 2回目の接種を受けた全員

▼接種時期 ワクチンの2回目接種を終了し、おおむね8カ月以上経過後

▼接種券の発送 2回目接種後8カ月を経過する月の前月下旬を目途に郵送

▼接種場所 原則、2回目接種を行った医療機関 詳細が決まり次第、随時市ホームページ等でお知らせします。

■問い合わせ先 弘前市新型コロナウイルスワクチン接種コールセンター(☎0120-567-745、月～金曜日の午前9時～午後8時、日曜日・祝日の午前9時～午後5時〈土曜日は休み〉)



制度を
拡充しました

令和4年度弘前市奨学生を募集

令和4年度新規奨学生から、**大学等の貸与月額を引き上げ**ます。また、大学等を卒業し要件を満たした場合に、**返還の一部を免除**します。

▼奨学金の額

学校種別	修学期間	入学一時金	貸与月額 ※()は入学一時金を貸与した場合の額。
大学(大学院、短大含む)等	4年	24万円	4万円 (3万5,000円)
	3年	18万円	
	2年	12万円	
高校・中等教育学校後期課程等	3年	10万8,000円	1万3,000円 (1万円)
	2年	7万2,000円	

▼対象 経済的な理由により修学が困難で、次に挙げる①と②に該当する人

①市内に住所がある家庭の被扶養者で、令和4年度に高等学校以上の学校(専門学校を含む)に在学している人(見込み者を含む)

②ほかの奨学金の貸与または給付を受けていない人

▼貸与期間 令和4年4月分から在学する学校の正規の修学期間

▼返還方法 卒業後1年経過してから10年以内

で、年賦・半年賦・月賦のいずれか(無利息)

▼申し込み方法 11月22日(月)までに、申込書に必要書類を添えて教育総務課(岩木庁舎3階)または学務健康課弘前分室(市役所1階)へ。

※家庭の経済状況や学力などを基に選考し、結果を12月下旬に通知します/申請書類は申込先で配布しているほか、市ホームページからダウンロードできます。

【大学等の返還免除】

大学等で入学時から奨学金の貸与を受け、学校を卒業して次の①～③の要件をすべて満たした場合、最大で入学一時金相当額の返還を免除します。

①免除申請前の1年間、市内居住、市への通勤、市内に本社を置く企業への就労のいずれかを満たしていたこと

②市奨学金の返還に滞納がないこと

③官公庁や学校の正規職員でないこと

※返還期間10年間で5回申請すると最大額の免除を受けられます/対象は令和4年度以降に奨学生となった人のみ。

■問い合わせ先 教育総務課(☎82-1639)

